

# 墨田区議会レポート

## 墨田区議会議員

# 井上ノエミ

## 平成23年9月&11月定例会報告



### 墨田区の皆様へのごあいさつ

平成23年4月に実施された墨田区議会選挙で初当選しました井上ノエミです。(2,598票で第14位で当選)新人議員ですが、全力で区政の改革に取り組んでいます。私の区議会レポートを是非お読みください。



井上ノエミ  
墨田区議会議員

### 区民の生命を守る荒川洪水対策「避難訓練を実施すべき」と訴えました。(11月29日本会議 一般質問)

(井上ノエミ) 政府の中央防災会議は、荒川の氾濫が起こった場合には墨田区でも多くの犠牲者が出ると想定している。洪水の犠牲者をなくすために避難訓練を実施すべきであり、特に小さな子どもや高齢者の生命を守るために保育園や老人施設での日頃の訓練が重要である。さらに、来年の3月11日にそのための防災訓練をしてはどうか。また、洪水時に避難場所として住民を受け入れるように、マンションの管理組合に頼んではどうか。

東日本大震災では、石巻市は群馬大学大学院の片田教授に防災アドバイザーを依頼して学校での防災対策を実施していたために、多くの子供の生命が救われた。墨田区でも区民の命を守るために、片田教授に防災アドバイザーを依頼して区民の生命を守る対策を実施してはどうか。

(山崎区長の答弁) 台風や豪雨等を想定した避難行動も、区民防災訓練の項目として加えるとともに、災害時要援護者施設等には定期的に避難訓練を行うなどの働きかけを行いたい。来年3月11日の防災訓練については、提案の内容等も含め検討したい。マンション管理組合等に対しては、積極的に協力を求めていきたい。防災の専門家の活用方法等については今後十分に検討したい。

### プロフィール

南米ボリビアで生まれ、大学卒業後エコノミストとしてボリビア中央銀行、国連事務所勤務。ニューヨークで井上和雄(元衆議院議員)と結婚。15年前に来日。平成22年日本に帰化し日本国籍を取得。平成21年南米諸国との交流を促進するNPO法人「日本ラテンアメリカ友好協会」を墨田区に設立し、理事長就任。墨田区石原在住10年間。平成23年4月に墨田区議会議員に初当選(1期目) 家族は、夫井上和雄(元衆議院議員)、長女(14歳) ペットのリリー(トイプードル) 趣味：ラテンダンス



みんなの党渡辺喜美代表と井上ノエミ

## 私のアジェンダ

- \* 安心して暮らせるスミダ!!
- \* 未来を育むスミダ!!
- \* 福祉のスミダ!!
- \* 国際観光都市スミダ!!

## 墨田区議会所属委員会等

- \* 福祉保健委員会（常任委員会）
- \* 新タワー建設観光対策特別委員会
- \* 墨田区社会福祉事業団評議員
- \* 墨田区議会国際親善議員連盟副幹事長

## 「いじめ」のない学校を実現します!!（9月&11月本会議 一般質問）

学校における「いじめ」は、多くの父兄にとって、たいへん心配な問題です。母親でもある井上ノエミは、「いじめ」のない学校を実現するために、9月と11月の本会議において、2回連続して、墨田区教育長にいじめ問題について質問しました。今後も学校教育上たいへん大きな問題であるいじめ問題について、真剣に取り組んでいきます。区民の皆様と協力して、「いじめ」のない学校を実現しましょう。学校での「いじめ」の情報は、メールでご連絡ください。

いじめ110番メールアドレス：[sumida110@gmail.com](mailto:sumida110@gmail.com)

## 英語教育を充実し、国際的に活躍できる人材を！（9月&11月本会議一般質問）

井上ノエミは、国際観光都市スミダから、将来国際的に活躍する人材を生み出したいと思います。そのためには、英語教育は重要です。子供は、外国語を覚えるのが早く、語学の天才です。墨田区の英語教育をより充実させるために、墨田区議会の9月と11月の本会議（一般質問）において、英語教育の重要性を訴えました。墨田区議会には英語の話せる議員が何人かいます。同僚議員の協力も得て、小学校の英語教育をより充実したいと思います。具体的には、子供たちが英語で話す機会を作るために外国人ボランティアを活用したり、英語だけで生活するキャンプを夏休みに実施する、スピーチコンテストやスペリングコンテストを実施するなどを区議会で提案しています。

## 国際観光都市スミダの実現についての提言（9月本会議 一般質問）

（井上ノエミ）墨田区では雨水国際会議を開くなど、特に雨水利用で世界をリードしてきた。世界にアピールしてはどうか。また、すみだ観光振興プランには自転車観光があるが、安心して自転車に乗れるように自転車専用道が必要である。更に、「国際観光都市の実現」のために、区内の外国人に意見を聞く委員会を設けたり、国際交流の機会を設けてはどうか。

（山崎区長答弁）雨水利用の取組みは国際的にアピールできるので、雨水利用の必要性を紹介するとともに更なる雨水利用の推進に努めたい。現状としては道路が狭あいで難しいが、自転車専用道の設置を検討したい。観光事業の推進に関して外国人のご協力をいただくことは検討すべき課題と認識している。